

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年2月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104829
法人名	医療法人 寛容会
事業所名	グループホーム 癒しの森
所在地	鹿児島県鹿児島市岡之原町600番地1 (電話) 099-295-7255
自己評価作成日	平成24年1月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・月に一度の園外活動。
- ・昔ながらの風習を大事にしている。
- ・月に2回ボランティアによる慰問活動。
- ・敷地内外での野菜作り。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	-------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年1月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

- ・地域との交流やつながりを大事にしており、事業所の秋祭りには多くの地域の人たちの参加があり、近くの障害者施設や町内の子供会との交流がある。また、子供110番に協力するとともに、踊りや演芸等の慰問や近所から野菜の差入れがあったりするなど、地域との交流を積極的に行っている。
- ・食事提供においては、手作りの味噌や畑で収穫した野菜など、旬の食材を使用している。また、利用者も一緒に金柑漬けを作ったり、簡単な調理や盛りつけ・後片づけなどを行っている。利用者の忘年会をホテルで家族と一緒に実施している。

【事業所の工夫点】

- ・母体が医療法人であり、協力医療機関や歯科医院より、月2回の往診がある等、関係医療機関との連携ができており、利用者や家族にとって安心できる環境である。
- ・法人やホーム内での定期的な研修や資格取得に向けた勉強会を実施するなど、職員が向上心を持って働けるように工夫している。
- ・運営推進会議の日に、避難訓練を実施する等、出席者にも参加してもらう工夫をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念を職員の目につきやすいリビングやホールに掲示している。また、定例会などで振り返りをおこなっている。	地域とのふれあいを大切にするという基本理念を、定例会や朝夕の申し送り時に確認し、よりよいサービスが提供できるように努めている。理念は、ホールなどの職員の目につきやすい場所に掲示し、重要事項説明書にも明示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事には、お互い参加するように努めている。	事業所の秋祭りには、多くの地域の人たちが参加し、近くの障害者施設や町内の子供会との交流があり、子供110番にも協力している。踊りや演芸等の慰問があり、近所からの野菜の差し入れや近くの商店で買い物をするなど、地域との交流やつながりを大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近隣の地域包括支援センターやグループホームと協力を行い、認知症を知ってもらうために、演劇をおこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を設けホーム内での現状報告を行い、困りごとには助言を頂き、協力をもらっている。	運営推進会議には、家族や民生委員・町内会長・地域包括支援センターが出席している。会議では、活動内容等を説明し、外部評価の結果についても報告している。会議内容については、家族会に報告し、サービスの質向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターが行っている、認知症の演劇や勉強会・交流会に参加している。	市の担当者とは、必要に応じて電話等で情報交換を行っている。推進会議には、地域包括支援センターから参加があり、同センターを窓口にも、認知症の演劇や勉強会・交流会に参加し、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内に掲示しており、定期的に勉強会も行っている。	身体拘束をしないケアについて、事業所の方針を入居時に家族に説明している。身体拘束廃止委員会を設置しており、定期的に勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠については交通安全等のため入居時に家族に説明し了承を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内に掲示しており、定期的に勉強会も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要に応じて説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>納得されるように十分な説明を行い、不安を解消するよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会にて意見や要望を聞いている。また介護相談員の受け入れも行っている。</p>	<p>意見箱を設置し、利用者からは日頃の生活の中で意見や要望を聞き、家族からは面会時や家族会での要望を職員全体で話し合い、解決できるように努めている。また、運営推進会議で報告し運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定例会を行い、職員の意見や提案を聞いている。</p>	<p>代表者は、職員定例会や申し送り時に、職員からの運営に関する要望等を聞いている。管理者も現場にて、日頃から職員とコミュニケーションをとるように心がけ、日常的に意見・要望等を聞き、勤務希望についても配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤勉な非常勤職員は、常勤へ空きが出れば常勤として採用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内、法人内での研修は、定期的に行っている。また資格取得に向けた勉強会を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的にグループホームの意見交換に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご家族や本人様に情報提供を行ってもらいながら必要なサービスが提供できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談する時点で、家族や本人様のニーズや考えを聞いて、できるだけ不安などが解消さえるように心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の状態を知るために、担当医やケアマネージャーに話を聞き、入居前に本人や家族の要望を聞いている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員も入居者とともに、生活を共にし、可能な限りお互いに支え合う関係を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の新聞発行。行事、月1回隊長報告で現在の様子が分かるように努めた、行事、忘年会で家族出欠を募り、ご家族と過ごしていただく時間を提供している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の許可を必ず得て、面会や外出などで、本人が大事にしている知人達とのふれあいができている。	知人の訪問等があり、関係を継続していけるように、家族と連携して対応している。利用者の馴染みの理容室や納骨堂にお参りに行くなど、できるだけ希望に添えるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、円滑に関係が保てるよう、コミュニケーションを図っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とされることがあれば、サービスが終了しても継続的な関係は大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話の中で本人の希望や望む生活を把握し記録や申し送り簿で共有し、可能なことは支援を行っている。	利用者からは、生活支援の中で思いや希望を把握し、詳細に記録して情報を共有し、本人の意思を尊重した生活ができるように支援している。意志疎通が困難な利用者は、家族から入居時や面会時に情報を得て、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居契約時に、本人や家族と話をする中で、生活歴の聞き取りをおこない業務に生かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身状態を観察・把握し、情報を記録、共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	プラン作成時、担当医、ケアマネージャー、本人様、ご家族より情報収集を行いケアプラン作成を行っている。	介護計画は、利用者や家族の意見を聞いて、利用者の毎日の暮らしぶりをもとに作成している。モニタリングは1ヶ月毎に、介護計画の見直しは6ヶ月毎に行い、状態が変化した場合に随時見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事・水分摂取量、排泄簿、バイタルなど毎日記録し、カルテにはその日の状態を記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人家族の状況に合わせて通院介助や送迎など必要に応じて対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアに2回/月慰問していただき、日々の生活を楽しんでいただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望する病院での往診、診察を行っている。	希望のかかりつけ医への受診の支援体制を整えている。協力医療機関や歯科医院より月2回の往診があり、通院は家族の協力を得ながら対応している。協力医療機関との連携ができており、利用者や家族にとって安心できる環境である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の看護職員と、連携を図り必要な指示、助言を頂き対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、退院計画書のうかがいを立て密にSWと情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向をくみ取りながら、職員全体で話し合い家族や医療関係者と連携を図りチームで支援できるよう努めている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、入居時に事業所の方針を説明している。本人・家族の意向をくみ、事業所の方針を職員全体で話し合い共有している。家族や医療関係者と連携してチームで支援できるよう努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の緊急隊員指導による緊急対応訓練を実施し前スタッフが対応できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防訓練を実施しており、地域の方々やご家族にも避難誘導訓練に参加いただいている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施しており、同日に運営推進会議を開催し、出席者にも参加してもらうなどの工夫をしている。消火器の訓練を実施し、消火設備の点検も定期的に行い、スプリンクラーも設置している。非常用の食料・水は備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを大切に考え自己決定しやすい声掛けをするなど取り組んでいる。	日常の支援の中で、トイレ利用やオムツ交換時など丁寧な言葉で接するように心がけており、利用者の思いを尊重した支援を行っている。入職時に利用者の人格の尊重と、プライバシーの確保について研修をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活において利用者が意思表示し、自分で決定できるような声掛けを行ったり、意思表示できない場合でも、表情や反応を見ながら自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの都合に合わせてではなく利用者のその日の体調や様子を見ながら本人のペースにあった生活ができるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えの時などは、本人に確認を取りながら好みの洋服を着ていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みのメニューを取り入れながら献立を作っている。又調理、盛り付け、後片付けも状態に応じて共に行っている。	献立は利用者の希望を聞き、食材購入も一緒に行ったりしている。手作りの味噌や庭の菜園で収穫した野菜など、旬の食材を使用している。利用者は、簡単な調理や盛りつけ・後片づけなど、行って、職員と利用者が同じテーブルを囲んで食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日記載し、一人一人の状態を把握できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の状態に合わせ声掛け一部介助で行っている。又、必要に応じて歯科受診や往診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で排泄リズムを把握しトイレでの排泄を基本とし、体調不良などはおむつ使用を行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して、定期的な排尿誘導や個々の状態に応じたトイレ誘導を行っている。おむつ使用者については、できるだけおむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量の徹底と繊維物の多い物の摂取に心がけている。又、散歩などの運動も積極的に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用当初に、入浴希望を取り、本人の希望に添えるように努めている。	入浴は2日に1回のペースであるが、利用者の希望を尊重している。一人ひとりがくつろいだ気分で入浴できるように、個別に入浴支援をしている。ホームで収穫したゆずでゆず湯などして、気持ちよく入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間気持ちよく眠れるように日中は散歩や運動、日光浴を取り入れている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院より処方されている薬は、カルテに薬情を綴り全スタッフが確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	草取り・調理の下ごしらえ・下膳・お盆ふきなど利用者の知恵を頂き、日々の暮しが楽しみがあるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人より希望があれば、個別で対応を行い外出援助を行っている。	天気のよい日は、近隣の散歩を実施している。月1回程度の外出でバラ園等の見学もしており、車椅子の利用者も参加している。希望により買い物や理容室・納骨堂に行ったり、忘年会もホテルで実施するなどの外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームの立替で、家族の許可を得て希望の物は購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族や知人などには自由に電話できるようにしている。手紙も要望があれば対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった飾り付けをしたり、心地よい音楽を流したり、庭の草花を飾ったりして季節感を取り入れ、ゆったりと過ごせるように工夫している。	リビングには、大きな窓ガラスがあり明るい。季節の飾りつけがされており、利用者の写真や作品の貼り絵等も飾っており、ウッドデッキを囲みホールや居室があり、利用者が落ち着いて生活できる環境になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでは気の合う利用者同士でソファでゆっくりくつろいでいただき、一人になりたいときは、居室でゆったりと過ごしていただいている。</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真、置物寝具などを持参され居心地よく過ごさせている。</p>			<p>居室はフローリングでベッドであるがベッドは必要に応じて電動ベッドも利用できるようになっている。収納スペース・整理ダンスが備え付けられてあり、仏壇や本人の手作り作品・家族の写真等が飾られ、利用者が安心して暮らせる配慮がしている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各部屋に表札をつけたり、トイレには目印をつけたりして混乱しないように工夫している。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない